

# 確実な穂肥と水管理で猛暑対策

## 1 生育概況(コシヒカリ 7/27現在)

現在の生育(指標値比)

【平坦地】 葉色:やや淡い  
(SPAD値 -1.5)

【中山間地】 葉色:並  
(SPAD値 +0.9)

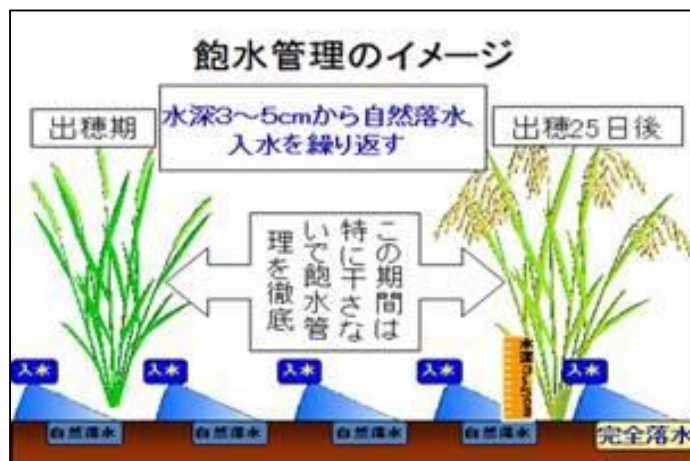
○葉色が低下したままのほ場も見受けられ、今後も高温が続くと予報されているため、栄養凋落が心配されます。

**極端に葉色が淡いほ場(出穂期3日前の葉色がSPAD値で31以下または葉色板で4未満の場合)では出穂期3日前に、窒素成分で1.0kg/10a以内の穂肥施用を検討してください。**

## 2 調査結果

### コシヒカリ

|      | 場所          | 標高<br>(m) | 田植<br>(月日) | 葉色(SPAD) |      | 備考                  |
|------|-------------|-----------|------------|----------|------|---------------------|
|      |             |           |            | 本年       | 指標差  |                     |
| 平坦地  | 今熊<br>(浦川原) | 14        | 5/10       | 34.4     | +1.4 | 7/23出穂              |
|      | 長走<br>(浦川原) | 23        | 5/17       | 28.5     | -4.5 | 7/26出穂              |
|      | 平均          |           |            | 31.5     | -1.5 |                     |
|      | 宮口<br>(牧)   | 57        | 5/24       | 35.0     | +2.0 | 8/3頃出穂見込み<br>全量基肥肥料 |
| 中山間地 | 和田<br>(安塚)  | 133       | 5/15       | 34.3     | +1.3 | 7/25出穂              |
|      | 大島<br>(大島)  | 152       | 5/10       | 35.3     | +2.3 | 7/24出穂<br>全量基肥肥料    |
|      | 菖蒲<br>(大島)  | 340       | 5/18       | 31.5     | -1.5 | 7/30頃出穂見込み          |
|      | 高尾<br>(牧)   | 340       | 5/18       | 34.4     | +1.4 | 8/5頃出穂見込み<br>全量基肥肥料 |
|      | 平均          |           |            | 33.9     | +0.9 |                     |



## 3 今後の管理のポイント

- 「コシヒカリ」の出穂期は平年より7日程度早い、前年より8日程度早い見込みです。
- 2回目の穂肥(出穂10日前)は、後期栄養を確保するために、窒素成分で1〜1.5kg/10aを基本に確実に施用してください。**なお、**葉色が極端に淡いほ場では、栄養凋落防止のため、窒素成分1.5kg/10aを基本に施用する。**
- ※ 極端に葉色が淡いほ場:2回目穂肥時の葉色がSPAD値で29以下のほ場(葉色板で3.7以下のほ場)**
- 出穂期までに葉色が低下した場合は、栄養凋落が懸念されることから、品質維持のため、以下のめやすを下回るほ場では、3回目穂肥を施用してください。**  
**(出穂期3日前の葉色がSPAD値で31以下または葉色板で4未満の場合、窒素成分で出穂期3日前に1.0kg/10a以内を施用)**
- 全量基肥肥料を使っている場合でも葉色が低下し、出穂期の葉色(SPAD値)が32〜33(葉色板4.4)を下回ると予想される場合には、追加穂肥を実施しましょう。**
- 出穂の12日前頃から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。ほ場の水分状態に応じたこまめな水管理で稲体の活力低下や下葉の枯れ上がりを防いでください。(高温下での長期湛水は根腐れに注意)**
- 新之助などのいもち病に弱い品種、生育量が大きく葉色が濃いほ場や、過去に発生が見られたほ場では、こまめに確認を行い、早期発見・早期防除に努めましょう。
- 病害虫発生予察調査でカメムシ類が多く確認されています。イネ科雑草が結実しない3週間程度の間隔で農道・畦畔の草刈りを行い、カメムシ類の本田防除も徹底しましょう。
- 暑い日が続きます。農作業時は水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。**